

臨海受験情報

ペンギン 入試レポート

2018年夏期講習特別号

『大学入学共通テスト』を知ろう！

高校3年生の1月に多くの受験生が受けている“センター試験”ですが、2020年度入試の実施を最後に廃止されます。代わりに、2021年度入試から新しく始まるのが『大学入学共通テスト』です。今の高校1年生から、受験することになります。テレビや新聞でも報道されることが多くなりました。夏期講習特別号では、大学入学共通テストについてまとめました。

(1)現在の高校1年生から、大学入試が大きく変わります！

今までの大学入試の方法は大きく分けると以下の3つに分かれていました。

- ①一般入試(主に筆記試験)
 - (1)大学独自入試 (2)センター試験利用入試 (3)大学独自入試+センター試験利用入試
- ②推薦入試(主に高校の調査書を資料とし、面接・小論文等を活用)
 - ※近年ではセンター試験の結果を使うところもあり
- ③AO入試(書類審査+面接など)
 - ※2011年度からセンター試験の成績を出願要件や合否判定に用いるようになった

全大学のうち89.1%がセンター試験を利用した入試を行い、全大学の68.5%がセンター試験のみで合否判定を行っています。つまり大学を目指すならば「センター試験」は多くの受験生にとっての関門でした。センター試験の代わりとなる「大学入学共通テスト」も今後、多くの受験生にとって関門となると言えます！

《大学入学共通テスト 実施早見表》

| | | 2018年度 H30年度 | 2019年度 H31年度 | 2020年度 H32年度 | 2021年度 H33年度 | 2022年度 H34年度 | 2023年度 H35年度 | 2024年度 H36年度 | |
|-----------------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------|-----------------|-----------------|----|
| 学習指導要領 | | 現行の学習指導要領 | | | | 新指導要領スタート(高1より年次進行) | | | |
| 大学入学 共通テスト | 形式 | プレテスト実施 | プレテスト実施 | 本格実施 | | | | | |
| | 指導要領反映 その他 | | 実施大綱の策定&公表 | | 現行指導要領 | 新指導要領対応 | | | |
| 学年推移 | 高1 | | 高2 | 高3 | 大1 | 大2 | 大3 | 大4 | |
| | 中3 | | 高1 | 高2 | 高3 | 大1 | 大2 | 大3 | |
| | 中2 | | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 | 大1 | 大2 | |
| | 中1 | | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 | 大1 | |
| | 小6 | | 中4 | 中2 | 中3 | 中4 | 高1 | 高2 | 高3 |

上記の表は、実際にいつ『大学入学共通テスト』を受けるのかを示した表です。今の高校1年生が、高校3年生時の2021年1月から受験することになります。また、今の小学校6年生は、高校3年生時の2025年1月に新指導要領に対応した大学入学共通テストを受験することになります。さらに、今の中学生達は、大学入学共通テストの過去問などのデータが少ない状況で受験をしなければなりません。

新たに始まる『大学入学共通テスト』には、以下のような注目点があります。

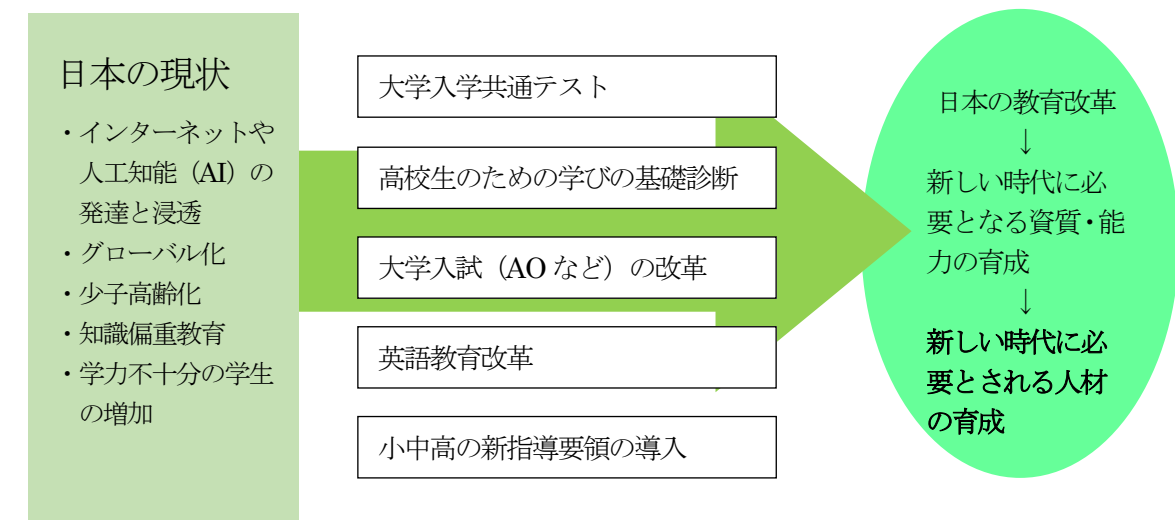
- ①英語試験の大改革！
 - 民間の資格・検定試験の活用、4技能(聞く・読む・書く・話す)の評価など
 - ②記述式問題の導入！
 - 国語・数学で記述式問題が導入され、思考力・表現力・情報整理能力が問われます。
 - ③マークシート式問題でも新形式の出題！
 - 当てはまるものを全て選ぶ問題や、複数の資料やグラフを組み合わせて考えさせる問題など新形式の出題も検討。
- “大学入試”はずっと先の未来のことだから、と思われるかもしれませんが、実は既に対策を始めている高校や中学校、塾は多くあります。高校入試でも全国的な流れとして、英検を評価対象にする、英語の話す(スピーキング)テストの実施を検討、記述式問題を導入するなど様々な変化が起こっています。

(2)どうして今、『大学入学共通テスト』に変わるのか？

「2011年にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は大学卒業後、今は存在していない職業に就く」
 ニューヨーク市立大学大学院センター教授 キャシー・デビットソン
 「今後10~20年程度で半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」
 オックスフォード大学准教授 マイケル・オズボーン

上記の言葉に表れているように、今、インターネットや人工知能(AI)の加速度的な発達と浸透、グローバル化などにより私たちの社会のあり方や仕組みそのものが急速に変化しています。

日本は、超少子高齢化社会による生産年齢人口の急減、外国人労働者の増加、労働生産性の低迷など様々な変化が急速に進んでいます。これまでの日本の教育ではこの変化に対応できる人材を育成できないという懸念から、現在、教育の大改革が行われています。特に、高校の授業・大学入試・大学の授業という一貫した教育改革は、“高大接続改革”と呼ばれています。改革の影響が及ぶのは高校・大学だけではなく、高校の授業が変われば高校が求める生徒像も変わるため、高校入試も変わり、高校入試に対応するために中学校の授業、小学校の授業も影響を受けることになります。大学入試の大改革をすることで大学はもちろん、高校、さらには中学校や小学校といった日本の教育全体に変化を与え、これからの時代に必要とされる人材を育成することこそが最大の目標なのです。



(3) 現行のセンター試験と『大学入学共通テスト』の違いは？

| | センター試験 | 大学入学共通テスト |
|-----------|---|--|
| 実施年度 | ～2019年度まで (現高校2年生まで) | 2020年度～ (現高校1年生から) |
| 日程 | 1月中旬の2日間 | 1月中旬の2日間 |
| 出題科目・教科 | 6教科30科目※ ¹ | ・2023年度まで センター試験と同様 ・2024年度から 教科の簡素化を検討中 (2024年度から新指導要領の学習範囲内から作問される) |
| 問題の解答方法 | マークシート式 | ・マークシート式 ・国語・数学においては記述式問題も導入 ・2024年度からは理科系・社会系の科目でも記述式問題導入予定 |
| 問題の傾向 | 奇問・難問を排除し、大学に入学を志願する者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を図る | ・知識の理解の質を問う問題や、思考力・判断力・表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視。 ・試験時間はマークシート式・記述式と合わせて国語が80分から100分程度、数学が60分から70分程度に延長される。 ・国語と数学の記述式問題はそれぞれ3問ずつ出題※ ² |
| 英語 | 主に2技能(聞く、読む)を評価 | ・4技能(聞く、読む、書く、話す)を評価 ・英語の民間の資格・検定試験を活用※ ³ ・2023年度まで 大学入学共通テストの英語試験と英語の民間試験の両方を実施 ・2024年度から 民間試験に一本化を検討 |
| 試験結果の提示方法 | ・各教科1点刻みで点数を出す ・国語は、近代以降の文章・古文・漢文でそれぞれ点数を出す | ・成績は1点刻みの点数(素点)と9段階程度の段階別評価の提供を検討 ・国語は近代以降の文章・古文・漢文を全て含めた全体の素点を提供予定 ・英語の民間試験では、素点と段階別評価(CEFR)で提供 ・国語と数学の記述式問題(国語)マークシート式問題とは別に、記述式問題は段階別評価が示される予定 (数学)マークシート式問題と同様に配点がある予定 |

- ※¹ 2018年6月18日に大学入試センターから『大学入学共通テストの出題教科・科目について(予定)』が発表されました。右の図を参照。
- ※² 国語の記述式問題では、20～30字程度、40～50字程度、80～120字程度を記述する問題がそれぞれ1問ずつ、合計3問出題されます。数学は「数学Ⅰ」および「数学Ⅰ・A」の科目で数学Ⅰの範囲から記述式問題が3問出題されます。
- ※³ 詳細は、臨海セミナーHP(2020年大学入試改革について)を参照。

現行のセンター試験と大学入学共通テストで実施する教科・科目は2024年度入試までは同様ですが、問題の傾向や英語試験については多くの変更点があります。

また、2025年度入試以降は新指導要領に対応した内容になり、原則全ての科目での記述式問題の導入が検討されています。高校生の新指導要領の中には「理数探究」という理科と数学の両方の見方・考え方を組み合わせ課題を解決する能力を養う新設科目などがあり、大学入学共通テストの実施科目も簡素化(例:言語⇒国語・英語など)が検討されています。

下線は、現行センター試験との相違点を示す。

| 教科 | グループ | 出題科目 | 科目選択の方法等 | 試験時間 |
|------|------|--|--|---|
| 国語 | | 『国語』 | | 100分 |
| 地理歴史 | | 「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」 | 左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 | 1科目選択 60分 2科目選択 130分(うち解答時間120分) |
| 公民 | | 「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理・政治・経済』 | | |
| 数学 | ① | 「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』 | 左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。 | 70分 |
| | ② | 「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』 | 左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 | 60分 |
| 理科 | ① | 「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 | 左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。 A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 | 【理科①】 2科目選択 60分 【理科②】 1科目選択 60分 2科目選択 130分(うち解答時間120分) |
| | ② | 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 | | |
| 外国語 | | 『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 | 左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 | 【筆記(リーディング)】 80分 【リスニング】(『英語』のみ) 60分(うち解答時間30分) |

(4) 試行調査(プレテスト)について

2021年1月から開始する『大学入学共通テスト』ですが、既に試行調査(プレテスト)が複数回実施されています。2017年11月には約1900の高校と、約19万人の高校生が参加し、国語・数学・社会・理科の試行調査が実施され、国語・数学では記述式問題が出題されました。2018年2月には、約160の高校と、約6300人の高校生が参加し、英語の筆記(リーディング)・リスニングの試行調査が実施されました。記述式問題や新形式での出題があった科目では、正答率が0.6%という1%に満たない問題もあり、テレビや新聞でも話題になりました。今年の11月には再度、試行調査が約10万人の規模で実施予定です。

臨海セミナーHP(2020年大学入試改革について)では、試行調査の結果を各教科ごとにまとめた資料を掲載しています。
右側のQRコードから、ぜひご覧ください！

